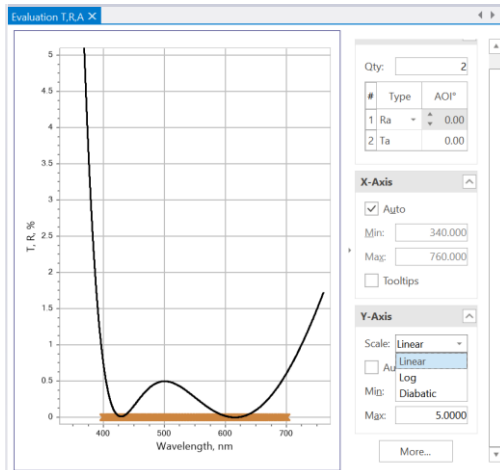


OTF Studio ver.24.17 の更新内容

【更新内容】

1. Evaluation ウィンドウの Y 軸スケールに Logarithmic(対数)と Diabatic(ディアバティック)を追加しました。

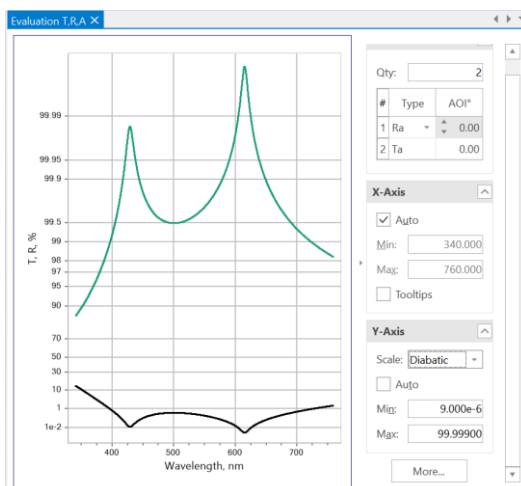


(ケイワン注釈)

Diabatic スケールは、SHOTT により定義され、0%または 100%付近の特性が拡大され、20%~80%範囲範囲ではほぼ等間隔で表示されるスケールです。

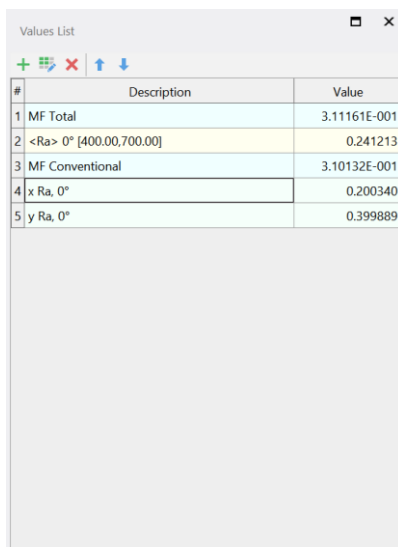
計算式は、 $Y = 1 - \log_{10}(-\log_{10}(T))$ です。

特に指数関数的な特性の場合には、詳細な状況がわかりやすくなります。



また、グラフ線の色変更は Chart Designer から、Measurement/Target の変更には Marer, その他は Stroke で修正しましたが、本バージョンからすべて Stroke で修正するように統一されました。

2. チャートの表示方法を大きく変更しました。
 - ・グラフのコントラストを改善
 - ・複数のチャートでのスケールを改善
 - ・その他の便利なグラフ表示の追加
3. OMモード(光量変化計算)の Swing 改善
Correction Factor が大きい場合に NAN(Not-A-Number:数値でない)が表示されていたのを修正しました。
4. OMモード(光量変化計算)のバグ修正
Runsheet のセル内で ESC キーを 2 回以上連続してクリックした時にエラーが発生する可能性があるのを修正しました。
5. Variator 解析の改善
修正された設計状態は保持され、Revert(復帰)ボタンは Variator の状態で決まります。
6. ハイレゾリューションディスプレイでの Design/Model Builder の表示が適切でなかった(小さすぎる)のを修正しました。
7. Values list パネルに表示される Color 関係の項目で R と T で入れ替わっていたのを修正しました。



#	Description	Value
1	MF Total	3.11161E-001
2	<Ra> 0° [400.00,700.00]	0.241213
3	MF Conventional	3.10132E-001
4	x Ra, 0°	0.200340
5	y Ra, 0°	0.399889

8. OMモード(光量変化計算)のバグ修正
AS モード(設計)で使用した真空中の材料が適切に読み込まれていなかったのを修正しました。

以上